

私のAction！！

“考える”から“実践”へ！ 一步踏み出し行動してみよう！

職名（ 事務主事 ）

経験年数（ 2年目 ）

～「学びの環境整備」を意識した校務運営への関わりを目指して～



私は“子どもたちのために”

- ・印刷室の整理整頓
- ・消耗品庫の整理整頓

をやってみる！

“思い”

なぜそう思ったのか

印刷室や消耗品庫にはものが多く、教員や事務職員が必要な時に必要なものを探すのに時間がかかるため、その時間を減らしたいと思った。

“未来予想図”

行動することで、どのような未来や子どもの姿を想像するか
先生方のものを探す時間を減らすことで、子どもにかかる時間を増やすことができる。

そのためには…？どう“コーディネート”する？

そのためには、誰とどのようになにをするのか“つなぐ”役割として、どのように調整しまとめていくか など

やらなければいけない仕事をできるだけ早く終わらせて整理整頓にかかる時間をつくる。
地域の事務職員の先輩や学校の先生にどうすればよくなるか相談する。

目標達成に向けて、必要な力とは？ [【人材育成指標を確認！！】](#)

実務能力、コミュニケーション能力

参考例：滋賀県公立小中学校事務職員の職階に応じた人材育成指標

【参考写真】

整理整頓前



まだ途中ですが現状です。



不必要なものを捨てて、作業スペースを広くとれるようにしました。

ドアを外して中に何が入っているか見えやすくしました。

消耗品庫の方はまだ全然手を付けられていません。



私のAction！！

“考える”から“実践”へ！ 一歩踏み出し行動してみよう！

職名（ 事務主事 ）

経験年数（ 9年目 ）

～「学びの環境整備」を意識した校務運営への関わりを目指して～



私は“子どもたちのために”

前任校3年目のときの事例です。

そのときは何も考えてなかったですが、学年ごとに①授業関係プリント等②行事等のプリント③その他のファイルを学年で作成し、授業準備や学級経営の環境改善を行い、授業や行事の標準化を目指しました

をやってみる！

“思い”

なぜそう思ったのか
教員がベテランと若手の二極化しており、
学校を引っ張ってくれた教員の異動が近かったため、
学校として積み上げたものを継続していけるようにしたいと考えたため

“未来予想図”

行動することで、どのような未来や子どもの姿を想像するか
よくベテランの授業がすごいと若手教員から聞いていて、
どんなプリントを使っているのか見たいと聞いて、少しずつでも積み上げて、担任による差を減らし、授業準備の時間を短縮することで、本来教員がしたいことに時間をかけられるようにしたかった

そのためには…？どう“コーディネート”する？

そのためには、誰とどのようになにをするのか“つなぐ”役割として、どのように調整しまとめていくか など

事務には事務提要などがあり、学校にも同じような指針のようなものがあれば良いなと思い、ファイルの作成を職員会議で提案した。データでの管理も考えたが、事務提要もデータでは活用しにくいなと感じたため紙でファイルに保存とした。
事務が提案したが、活用するのは教員のため、事前に意見を聞いたり、企画委員会で提案を行った。また、ファイルが活用されやすいよう、どんなものがよいかアンケートを実施し、大きさや色やハーフポケットなど希望のものを購入した。
また、購入のため公費の予算が必要で、何を削減するか企画委員会で検討した。

目標達成に向けて、必要な力とは？ [【人材育成指標を確認！！】](#)

主に調整力が必要

- ・コミュニケーション能力
- ・現在困っていること、今後困りそうなことへのアンテナ

参考例：滋賀県公立小中学校事務職員の職階に応じた人材育成指標

私のAction！！

“考える”から“実践”へ！ 一歩踏み出し行動してみよう！

職名（ 事務主査 ）

経験年数（ 29年目 ）

～「学びの環境整備」を意識した校務運営への関わりを目指して～



私は“子どもたちのために”

学習環境を整えたい

“思い”

なぜそう思ったのか
特別支援コーディネーター担当者より、学校ユニバーサルデザインとして、黒板両脇の掲示板を覆うようなカーテンのようなものを取り付けたいと相談を受けた。掲示板の掲示物が授業の集中を削ぐとの理由からだった。授業に役立つのなら試しに一緒にやってみたいと感じた。

“未来予想図”

行動することで、どのような未来や子どもの姿を想像するか
授業に集中できる環境を整えることができれば、素敵だな。カーテンの設置一つの工夫で、子供たちのまなぶ意識が変わるなんてすごいこと

をやってみる！

そのためには…？どう“コーディネート”する？

予算的にもすぐに全教室ということは難しいため、特別支援コーディネーター担当に、試験的に設置したい教室を上げてもらう。教室の下見、それから、設置個所の採寸を一緒に行う。カーテンレールの手配は事務職員が行う。使用できるカーテンは自校になかったため、他校の改修工事等で不要になったカーテンを引き取り、黒板横の掲示板の大きさに裁断、家庭科主任からミシンを借用し裁縫を事務職員が行う。カーテンレールの設置には、学年の技術科・教室担任・コーディネーターの力をかりて設置した。個別の課題の多い生徒に対するアクション。しかし、ユニバーサルデザインの考え方から、課題のある生徒だけでなく、全生徒に向けての動きなので、学校全体の動きへ校内特別支援委員と一緒に学校全体の課題ととらえ取り組みたい。

目標達成に向けて、必要な力とは？ [【人材育成指標を確認！！】](#)

実務能力。課題を意識し、解決までの道のりを大まかに描くこと。今回は試験的な取り組みとして始まったことだが、全クラスに設置を目指し予算面についても来年予算要望に加えた。

参考例：滋賀県公立小中学校事務職員の職階に応じた人材育成指標